

景観まちづくり瓦版

創刊号

令和4年
12月発行

この瓦版は、御前崎市の景観を維持・創出していく様子を、市民の皆様にお伝えするものです。

景観まちづくりは、景観から「住民などが暮らしやすく、訪れたいまちづくり」を行い、さらに「御前崎市を未来の子供たちに残す」大事な取り組みです。



御前崎市では、令和2年より景観行政団体になり、景観計画の策定に取り組みはじめました。

令和3～令和5年度は景観形成のあり方や方策を検討し、令和6年度末を目途に景観計画を策定、景観まちづくりを推進します。ぜひご覧ください。

事業のメンバー紹介 (役割)

市民
事業者

普段感じている御前崎ならではの景観を維持・向上させるため、景観まちづくりに参加します。

御前崎市

市の代表として、日々感じている景観について考え、計画策定や推進に取り組みます。

岡田教授

4年前から御前崎市の事業に従事しています。景観の専門的知識を有するアドバイザーです。

日本大学
理工学部
まちづくり
工学科

教えて
岡田先生!!

知っているようで知らない…
景観について教えてください。

「景=すがた」「観=心で感じる(五感で感じ取る)」。

電柱・電線・建築物の色や高さ、屋外広告物のみならず、五感で感じるものすべてが景観で、人のにぎわいなども景観に含まれます。



令和4年10月19日に第1回市民景観ワークショップ開催。
「好きな景観・改善したい景観」「地区別※の景観目標」
について意見交換をしました。 ※ 池新田、高松、佐倉・比木、朝比奈・新野、御前崎、白羽地区



地域を交えた、意見交換が大事。



全地区でたくさん意見が出ました。



地域の意見を、交換することが大事。



御前崎はユニークな環境で形成されてます。

景観計画をつくることで
どんなメリットがあるの？

- 1 残したい風景を残すことができる。
- 2 良い景観が創出されることで過ごしやすいくなる。
- 3 観光促進・地域交流に役立つ。 等

※景観計画とは「景観法」に基づく「良好な景観形成に関する計画」のことです。

ワークショップで
聞いてみました。

御前崎の好きな景観

- 坂の先の夕日
- 街並み
- 海と富士山
- 田園風景 など

御前崎の改善したい景観

- 道沿いの雑草
- 空家
- 荒れている茶畑
- 工場の匂い など

